

春学期オンライン授業に対するアンケート結果 (2)

心理学部教員一同

5月末から6月初旬にかけて行った調査に続いて、7月上旬(7/1~7/10)にかけて二度目の調査を行いました。一度目の調査以降、春学期のオンライン授業に改善が見られたかを把握し、評価を行うのと同時に、いっそうの改善を進めるための指針を得たいと考えたためです。

回答してくださったのは、学部学生全体の約28%にあたる201名(1年生86名, 2年生64名, 3年生38名, 4年生16名)でした。以下では、その結果を報告します。

まず、一度目のアンケート調査の結果を学部HP(<https://www.chukyo-u.ac.jp/educate/psychol/>)で閲覧したかを尋ねました。下の図1がその結果です。「すでに(あるいは、いま)閲覧した」人は141名、全体の約7割でした。

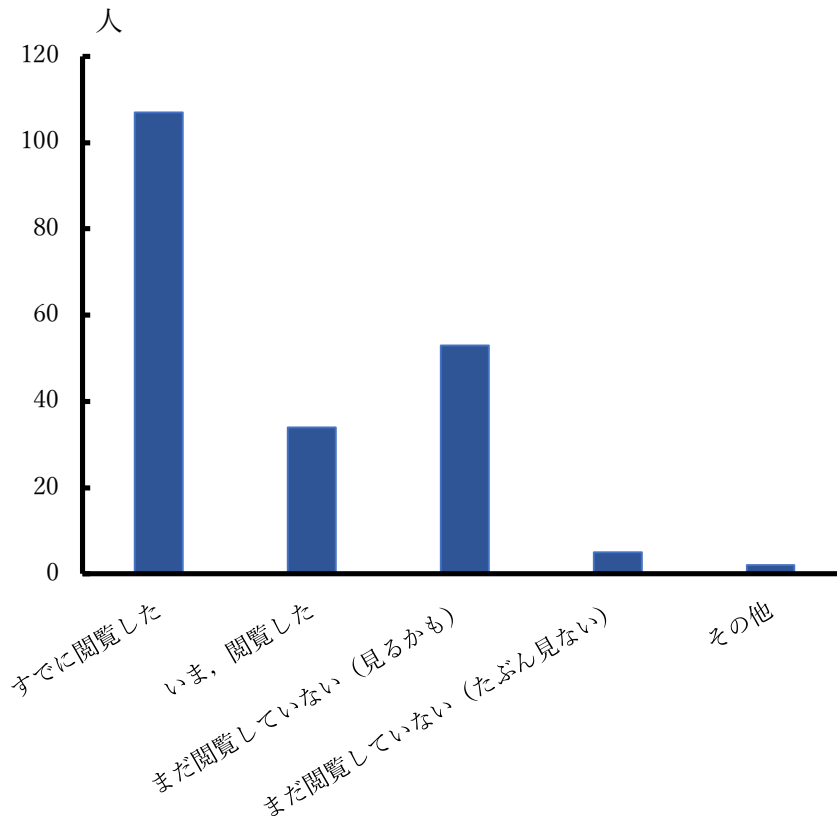


図1. 心理学部HP(<https://www.chukyo-u.ac.jp/educate/psychol/>)にある前回のアンケートの結果報告を閲覧しましたか

HPを閲覧した人(141名)のうち、114名の方は、HPを見た感想も書いてくれました。内容的に最も多かったのは、「みんな、自分と同じように不安な気持ちを抱えて授業を受けていることがわかって安心した、力づけられた」というものでした(69名, 60.5%)。特に1年生は、横のつながりが皆無の状態オンライン授業を受けることになってしまい、同級生についての情報が全くなかったでしょうから、このように周りの人たちの状況が知れたこと、またみんなが同じような気持ちであることを共有できたことは本当によかったと思います。

HP を閲覧した感想として、これに次いで多かったのが、「学生の状況に教員が目を向けてくれることがうれしかった、有難かった」という内容でした（23名、20.2%）。私たち教員としては、過去に例のないこの状況のなか、いち早く学生の皆さんの状況を把握し、改善の努力をはかることが必要と考えていましたので、このように思ってもらえたことは本当にうれしいことでした。

その他の意見としては、「自分とは異なる意見も多々あって驚いた」、「オンラインのほうがいいという人がいてびっくりした」、「自分はALBOをあまり見ていなかったので、ちゃんと見ようと思った」などがありました。

次に、最初のアンケートのあと、春学期の授業に改善が見られたかを尋ねました（ここが重要なポイントです）。その結果を示したのが下の図2です。左の図が全体の結果、右の図は、学年ごとに結果を示したものです。「かなり（あるいは、多少は）改善された」の合計が69名（34.3%）でした。3割以上の方が、改善を実感してくださったのは本当に良かったと思います。これと、「以前も問題なかった」（91名）を合わせると、160名（79.6%）が問題なく授業を受けられている（受けられるようになった）ことがわかりました。ただ、「改善されていない」、「むしろ悪くなった」という人も2割程度いたことは、重く受け止めるべきだと感じました。

ちなみに、結果を学年別にみると（右図）、「問題が改善されていない」と答えた人は、1年生に多く、2、3年生でも一定程度いることがわかりました。

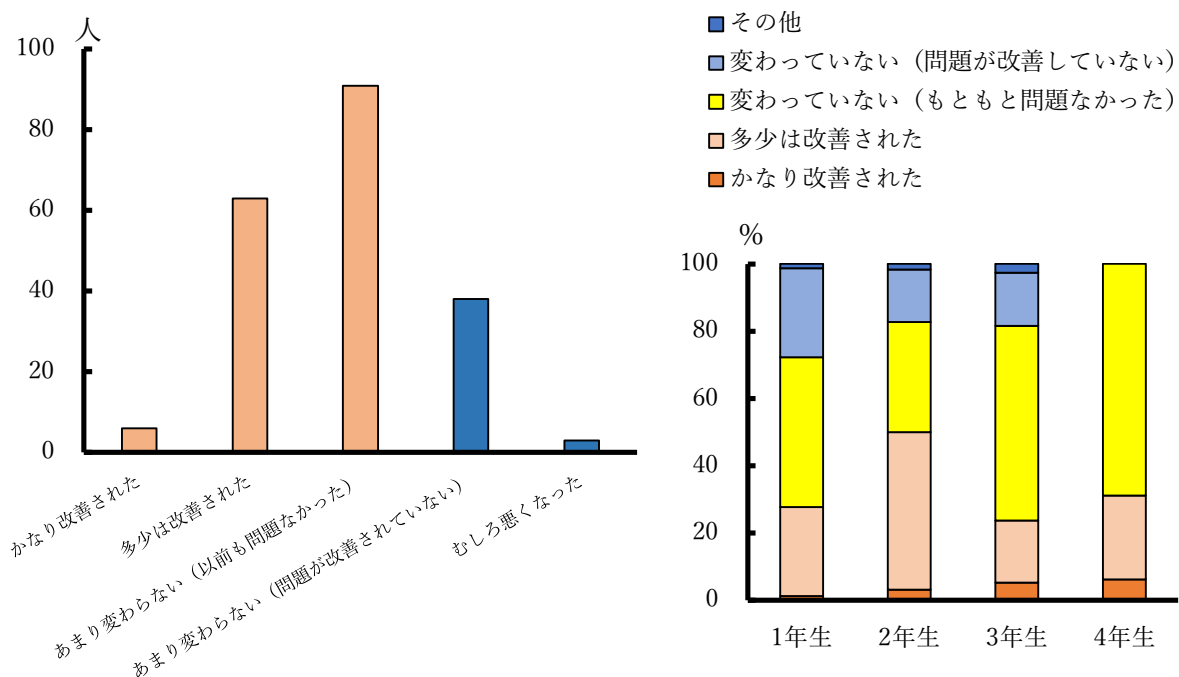


図2. 以前（5月下旬ごろ）と比べて、改善が見られましたか（左：全体、右：学年別）

では、改善に対して否定的な見解を示した人は、どのような点にそのような気持ちを感じていたのでしょうか。このことについて記述してくれた36名に関して、その内容を分類してみました。その結果、「課題が多いこと」への不満が圧倒的多数でした（21名）。それに次いで多かったのが、アップロードされる資料に対する不満で（8名）、具体的には「音声がない、小さすぎて聞き取れない」、「音声ファイルが長すぎる（短すぎる）」、「説明がわかりにくい」、「アップロードが

不定期」などがありました。

このほかでは、「課題に追われて自分で学習する時間が取れない」、「自分の知識になっているのか不安」などの記述もありました。これらも結局は、「課題が多いこと」に伴う問題と考えられました。

次に、資料のダウンロード、課題の提出に関して、支障なくできているかを尋ねました。学年別に結果を示したものが次の図3、4です。

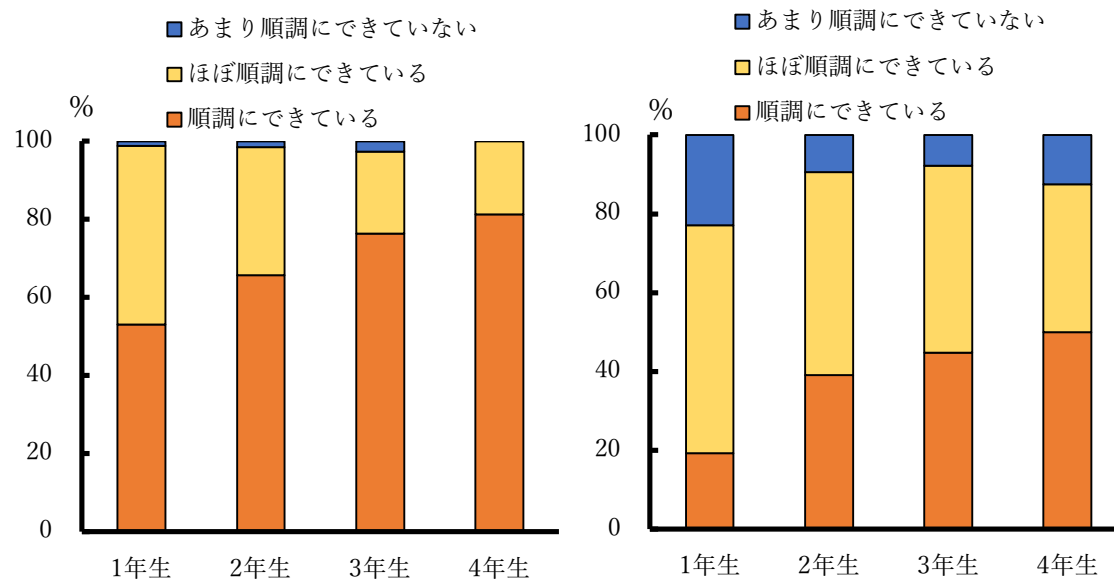


図3. 資料のダウンロードはできていますか 図4. 課題提出はできていますか

資料のダウンロード(図3)に関しては、「順調にできていない」という人は少数でした。一方、課題提出(図4)に関しては、30名(14.9%)が「あまり順調にできていない」と答えていました。なかでも1年生の中に、問題を感じている人が多いという結果でした。

資料のダウンロードや課題の提出が順調にできていない人に、その理由を尋ねました。記述してくれた34名のうち最も多かったのは、「(課題をこなす)時間がない」(12名)という内容でした。これに関連して、「課題が多いので、一つひとつに時間をかけられずレポートの質が保てない」、「ただ課題を消化しているだけ」、「課題をやることの意味が見いだせない」などの記述もありました。

そのほかでは、「資料の提示方法や課題提出の期限が科目ごとにバラバラなので、ダウンロードしわすれる(課題提出を忘れる)」、「資料がアップロードされる時間がイレギュラー(しかも、いつアップしたか連絡もない)」などがありました。

続いて、6月から7月にかけて新たにどのような問題が生じているかを記述してもらいました。記述のあった60名のうち最も多かったのは、「1週間に複数回、資料が提示される授業が一気に増えた」というものでした(19名)。また、定期テストに対する不安、例えば「レポート課

題でどのように成績がつくのか、わからず不安」などの記述もありました（7名）。

以上を簡単にまとめると、下記の通りになるかと思います。

- ・ 一部の授業では、改善がみられた。しかし、改善が見られない講義も依然としてあった。
- ・ 春学期の後半になって、アップロードされる資料が一気に増え（週に2回など）、課題もそれに伴って増えた。そのため、課題の多さに忙殺されている人が多く、課題を行うことの意味を見失う人もいた。
- ・ どの学年にもその傾向はあったが、1年生に際立って多かった。

今回の調査では、「春学期のオンライン授業改善に対する、心理学部の教員の取り組みに点数をつけるとすれば、何点ですか」という質問も行いました。その結果は、下記の図5に示す通りで、平均点は3.78点（SD=0.85）でした。なかには、0～2点の人もいましたが、4点の人が多く、次いで3点が多いという結果でした。

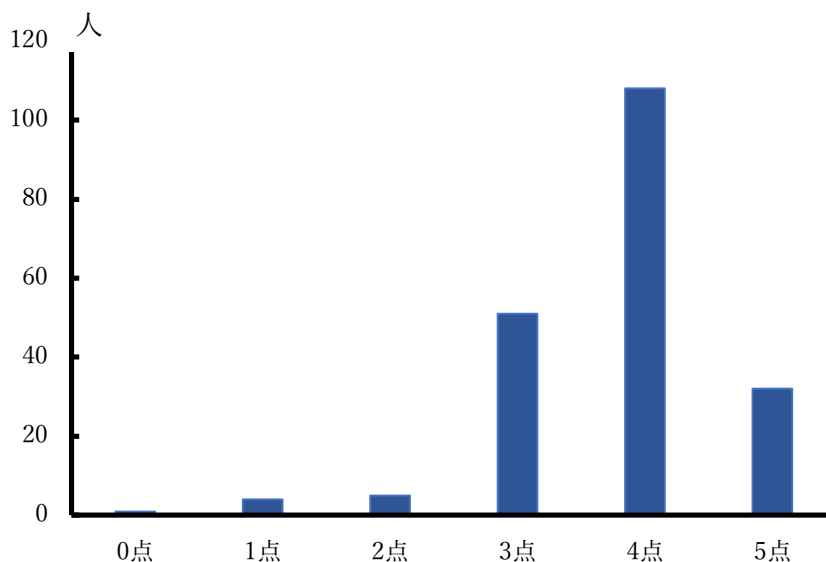


図5. 授業改善に対する教員の取り組みに点数をつけるとすれば？（5点満点）

最後に、秋学期以降も継続してほしいことは何かを尋ねました。記述の中で多かったのは、「今までと違って教員に積極的に質問できるようになった、オンライン等で質問できる体制は続けてほしい」という内容でした。「学期途中で学生にアンケートをとることを続けてほしい」という意見もありました。

まとめ

一度目に行ったアンケート調査については、学部教員で共有し、できる範囲での改善はしたつもりです。しかし、さまざまに制約もあり、力及ばず改善が進まなかったところがあることは、私たち教員も認識しています。特に申し訳なかったのは、大学に入学したばかりの1年生への負担が大きかったことです。この点は一番悔やまれますが、オンライン授業の経験でむしろ身についたこともあったのではないかと思いますし、ぜひ前向きに捉えて、秋学期を迎えてくださればと思います。

二度目のアンケート調査をやったのは、特に後半になって（おそらく6月以降）、資料や課題が一気に増え、それが皆さんの心身の負担を大きくしたということです。短くなった春学期期間中に15回分の授業を詰め込もうとしたことが原因であることは重々承知しています。また、授業間でさまざまにばらつきがあったことも理解しています。もし秋学期も、一部オンライン授業が続く場合は、教務課とも相談しつつ、よりよい形にできるよう改善に努めたいと思います。

定期テストについてですが、少なくとも学部の教員が担当する講義に関しては、レポートの提出期間を少し長めに設定することを共有しました。成績評価については、たしかに心配だと思いますが、もし結果をみておかしい、納得できないと思った場合は、教務課に問い合わせてください。

あまり触れませんでしたでしたが、オンライン授業を行ったことで、むしろよかったという記述も多数ありました。通学に時間がかかる人にとっては、通学時間や通学費用が削減できてよかったようです。また、授業内容を繰り返し聞けることで対面授業より理解がしやすかったという記述もありました。上でも紹介しましたが、オンラインのほうが教員に質問しやすかったという意見もありました。

最後に、皆さんが書いてくださった記述の中で印象に残っているものを二つ紹介させていただきます。

「偉そうなことを言って申し訳ないが、いま一度教員各自で、自分の授業のやり方や課題の内容を見直して欲しい。先生方が大変なのは分かるが、生徒側も本当に苦労している。」

「・・・教員側もなかば死ぬ思いをしているのはこちらも把握しているので強く言えない人も多いと思うが、こちらの状況を知ってほしいのでいろいろと書きました。お互い頑張りよう、と心から思っています。」

教員のことにもまで気を配ってくださっていることに感謝の気持ちでいっぱいです。この困難を超えて、秋学期も前向きに頑張っていきましょう。そのために、とにかく今は、一人ひとりが自分の行動に責任を持ち、コロナが落ち着くことを願うばかりです。秋学期にお目にかかれることを楽しみにしています。